



来年の野焼きに備えた防火帯作りを9月29日(日)8名、11月3日(日・文化の日)6名の参加者で実施しました。「防火帯」とは、 野焼きを行う付近の山林などへの延焼を防ぐためのものです。

9月29日には、草原とスギの植林地などの境にある草を幅 20mにわたって刈り払い機などで刈り取りました。11月3日に は、刈った草を焼いて、防火帯を完成させました。

なお、9月20日、10月7日には熊本県の阿蘇草原保全支援システムで実施されている「輪地切り支援ボランティア」からそれぞれ10名・6名の支援を受けて、500mほどの防火帯作りを実施いたしました。

また、草刈りを10月13日に8名の参加で実施しました。今年は、例年ツクシマツモトやツクシクガイソウ、サクラソウなどがたくさん咲くようになった牧場横の草原約1haの草刈りを行いました。8名の参加で、一人当たりの面積もかなり広いものになり、午前中だけでは終了せず3時過ぎまでのハードな作業となりました。今年は、去年の草刈りが効いたようでツクシマツモトの生育地がかなり広がってきましたが、来年はこの草刈りでさらに広がることを期待しているところです。

全体の面積が20haにおよぶ広大な面積のため、会員の皆様の 支援なしには草原として維持することができないところです。 皆様のご協力に感謝いたします。



防火帯作り(令和元年9月29日)



野焼き支援ボランティア防火帯焼き(令和元年10月7日)



防火帯作り(令和元年9月29日)



草刈り(令和元年10月13日)



防火帯作り(令和元年11月3日)

朝日新聞に、阿蘇花野協会の活動が紹介されました。

令和元年10月11日、朝日新聞地方版に「阿蘇の草原 在りし日の姿に」のタイトルで阿蘇花野協会の活動が 紹介されました。記者の方が、9月15日の秋の阿蘇野の花観察会に同行され、その様子が詳しく紹介されてい ます。

また、これまでの活動の経緯についても詳細に聞き取りされて、まとめていただきました。

特に、ここ数年で野の花がたくさん増えていることや、認定NPO法人になったことなど、阿蘇花野協会の会 員の皆様に事務局からお伝えしたかったことを取り上げてあります。ぜひご--読下さい。

> 朝日新聞地方版 令和元年10月11日(金)

阿蘇の草原 在りし日の姿に

く参加者=いずれも高森町 観察会で瀬井さんの説明を聴



NPO 保全活動15年

加する会員も増えている。

案内するのは同協会専務理 ミの仲間などを観察した。 事の瀬井純雄さん(62)。 を歩きながら、ヤマハギや 野尻の約16粒の草原の一部 日。協会が管理する高森町 ハナカズラ、ススキ、アザ 観察会があったのは15

キを茅職人に売れば今では キばかりの草原になるこ 野焼きだけをするならスス が咲くこと。草を刈らず を刈った草原には多くの花 スギを植えた山よりもお金 て肥料にしていたこと。草 では昔から草原の草を刈っ についても解説した。 阿蘇 になることも説明した。 ーなど。一方で、スス

の関わりについて瀬井さん に質問したりして、草原の たり、阿蘇の暮らしと草原 化を見つけては写真に撮っ 参加した人たちも好きな

NPO法人阿蘇花野協会による取り組みで、活動に参 は、阿蘇らしいさまざまな花の姿が戻っている。認定 で9月中旬、秋の野の花の観察会があった。草原に 度はやぶとなっていた阿蘇の草原を再生した場所 分け方を説明しつつ、草原 いろいろな花の特徴や見 ことを熱心に学んでいた。 当たり前にあった野の花も と草原に親しんだ。だが、 より、昭和30年代ごろまで 少、草原利用の減少などに スギ造林の拡大や、過疎化 習である盆花(お盆に先祖 ラビをとったり、阿蘇の風 区の出身で、子供の頃はワ による野焼きの担い手の減 に供える草花)を摘んだり 瀬井さんはこの近くの地

施。すると、秋に咲く花が

大きく増えたという。

せっかく増えてきた希少

広げた。秋だけだった草刈 る防火帯の幅を以前の倍に 翌年からは草を刈ってつく

実

年野焼きをして草原に戻し ら募るボランティアとで毎 購入し、地元の人や会員か た元草原を2006年から NPO法人にした。寄付や 野協会を設立し、翌年には くことを心配する仲間と花 004年、野の花が消えゆ 次第に姿を消していった。 会員を募り、やぶ化してい 学校の先生をしていた? な花が盗掘に遭うこともあ りも春と秋の年2回、

所に設置し、毎日パトロー った。今は監視カメラを各

ハナカズラ

オオユウガギク

る本来の姿で見るのが 約190人に達した。 毎年 昨年1年間で約50人増え、 なったこともあり、会員は く集める認定NPO法人と リニューアルし、寄付を広 番」と瀬井さんは話す。 ば花は育たない。草原にあ 境が違う場所に持って行け るためとみられるが、「環 庭で観賞したい人たちがい ルも実施。野の花を自分の の情報はHPで公開してい 5回開催した。寄付や入会 春から秋にかけて3回実施 る。問い合わせは同協会 していた観察会も、今年は 096 - 240 - 290 ホームページ (HP) を

保者の衝撃は大きく、活動 と安全対策を思案した末、 を半年ほど休止。草原維持 巻き込まれ亡くなった。関 に地元の住民の男性が火に もあった。17年、野焼き中 活動の中でつらい出来事

草刈り・野焼き・ :秋の花が復

令和元年度

阿蘇花野トラスト野焼きのご案内

今年も「花野」の再生をめざして、恒例の阿蘇花野トラストの野焼きを行います。野焼きや採草を繰り返すことによって、草原が「花野」に生まれ変わり野の花が蘇ります。広大な面積ですので、多くの方のご支援が必要です。 たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。



参加者募集

期 日: 令和2年3月20日(金・春分の日)

予備日は3月21日(土)、22日(日)、以後、土日に順延

場 所: Pro Natura Reserve 阿蘇花野トラスト (阿蘇郡高森町野尻) 約5 ha

時間:午前10時00分~午後3時30分

参加数:20名程度+地元農家10名

集 合 場 所 : 阿蘇花野トラスト駐車場(放牧地駐車場) < 9時50分までに集合してください。>

持 ち 物 : 帽子、タオル(マスク兼用)、軍手、弁当、飲物

服 装: 服装は燃えにくいものを。化学繊維・フリースなどは避けてください。

当日、難燃性の上着を配布します。

- 一昨年度より、一度に焼く面積を2ha以下とし、さらに防火帯の幅を従来の2倍の20mにして安全面に十分配慮して野焼きを実施するようにしています。
- 初めて野焼きに参加される方は、見学のみ受け付けます。 不明な点は、阿蘇花野協会事務局(TEL:096-240-2906)までお問い合わせください。
- 参加者には野焼き保険をかけます。

参加希望の方は、事前に阿蘇花野協会事務局まで、電話・FAXかメールにて、住所、氏名、電話番号を明記の上3月17日(火)までにお申し込み下さい。なお、実施体制把握のため、予備日(21日、22日)の参加の有無もお知らせ下さい。

TEL&FAX: 096-240-2906 e-mail: info@asohanano.com



当日の実施確認について

雨天・強風・積雪などの時には延期いたします。当日の実施の有無は朝6時以降に、事務局 (TEL:096-240-2906 e-mail:info@asohanano.com) にお問い合わせください。

阿蘇花野協会は、下記の各団体からの寄付・助成金・補助金を受け、活動しています。









日野自動車グリーンファンド



発行



認定NPO法人

阿蘇花野協会

〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘3番15号 TEL:096-240-2906 FAX:096-300-3339 暑くなったり寒くなったり、天候不順な冬です。さらにコロナウィルスの不安もあって、落ち着かないオリンピックイヤーになってしまいました。いまさらではありますが、美味しいものを食べて免疫力を向上させ、手洗い励行で健康な生活をいたしましょう。阿蘇はまもなく春を迎えます。

(事務局広報担当:森)